

事業所名	らんらん泉中央	支援プログラム（放デイ）	作成日	2025年	2月	21日			
法人（事業所）理念	お客様の期待を超える喜びと感動を提供することでやすらぎある地域社会の創成に貢献します。								
支援方針	①日常生活や活動、遊びの中でお客様の特性に合わせたバリエーション豊富なプログラムを提供していきます。 ②保護者様、学校、関係機関との連携を密にし、児童にとって最善の療育方法を提供していきます。 ③児童達が自ら喜びや達成感を味わい、自己肯定感を高められるような支援を行っていきます。								
営業時間	放課後 学休日	12 9時	00 30分	18 17時	00 30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容									
本人支援	健康・生活	○健康状態の把握・維持・・・障害の特性に及び発達過程に配慮しながら小さなサインから心身の変化に気付けるよう、きめ細かい観察を行っていく。 ○リハビリの実施・・・日常生活や社会生活を営めるようそれぞれの児童に合わせた身体的、精神的、社会的訓練を行う。 ○基本的な生活スキルの獲得・・・身の周りの清潔感を維持し、食事、衣類の着脱、排泄等生活に必要なスキルを獲得できるように支援する。 ○生活環境を整える・・・生活の中で様々な遊びを通して学習したり活動できる環境を整えていく。また、障害の特性に配慮した時間や空間を調整していく。							
	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の技能の向上・・・姿勢の保持や上肢下肢の運動・動作の改善を行う。筋力の維持・強化を図っていく。 ○保有する感覚の活用・・・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活動できる遊びや活動を提供していく。 ○感覚の特性への対応・・・感覚や認知の特性（感覚過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整の支援を行う。							
	認知・行動	○感覚や認知の活用・・・視覚、聴覚、触覚を十分に活用し、必要な情報を収集して認知機能の発達を促していく。 ○知覚推理・・・環境から情報を取得し、必要な内容を選別しながら行動に繋げていく一連の認知過程の発達を支援する。 ○認知・行動の概念の把握・・・形や色、音などが変化する様子、空間や時間等の概念の形成を図り行動の手がかりとして活用できるように支援する。							
	言語コミュニケーション	○言語の形成と活用・・・具体的な事象や体験と言葉の意味を結び付けることによって言語の習得や発声を促していく。 ○コミュニケーション能力の獲得・・・様々な児童との関わりを通して、コミュニケーションの幅を広げる支援をする。必要に応じて、文字や絵カードを使用し、意思の伝達ができるように支援する。 ○身振りや指さしの活用・・・身振り、指さし、サインを用いて、環境の理解と意思の伝達できるように支援する。 ○読み書きの支援・・・カルタ・フラッシュカード等の教材を用いて、発達段階に合わせた読み書きの習得を行っていく。							
	人間関係社会性	○アタッチメントの形成・・・身近な人との信頼関係を築き、それを基盤とし周囲の人との良好な関係性のサポートを行う。 ○模倣行動・・・遊びを通して人の動きを模倣することによって、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 ○自己理解とコントロール・・・自分の行動の特徴を理解しながら、気持ちや衝動、多動行動の調整ができるようにする。必要に応じて職員が介在していく。 ○集団行動への参加支援・・・集団行動する為の手段やルールをしっかりと伝え、見通しが持てるような支援を行っていく。							
家族支援	○障害の特性に配慮した家族環境の整備の助言。 ○個別支援計画に応じた相談援助の充実。 ○家族や兄弟児からの相談に対する適切な助言。			移行支援			○中学生を対象とした将来を見据えた支援の充実。（PC技術の向上・送迎を使わない利用の指導や補助） ○不登校支援（学校、児童館との連携で本人に合った居場所を見つける。）		
地域支援・地域連携	○学校、相談支援事業所、医療機関、アーチル等と連携をし支援体制の情報共有、環境調整を行っていく。			職員の質の向上			○役職・職種、経験年数に応じた研修制度の導入。（動画研修） ○事業所内研修、外部研修を積極的に受講していく。 ○児童福祉における必要資格の積極的な取得。		
主な行事等	○四季に合わせた行事を行うことによって、季節感を理解する。（お花見、夏祭り、お月見、クリスマス会、節分等） ○社会性を育む為のイベント活動。（公園外出、クッキング、各種外出プログラム、社会科見学等）								

事業所名	らんらん泉中央	支援プログラム（児童発達）	作成日	2025年	2月	21日			
法人（事業所）理念	お客様の期待を超える喜びと感動を提供することでやすらぎある地域社会の創成に貢献します。								
支援方針	①日常生活や活動、遊びの中でお客様の特性に合わせたバリエーション豊富なプログラムを提供していきます。 ②保護者様、学校、関係機関との連携を密にし、児童にとって最善の療育方法を提供していきます。 ③児童達が自ら喜びや達成感を味わい、自己肯定感を高められるような支援を行っていきます。								
営業時間	12時	0分	16時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	要相談	
支援内容									
本人支援	健康・生活	○身だしなみや乱れた時の整え方を知っていき、自分で意識的に直す習慣を身に付けていく。 ○SSSTや日々のルーティンワークの中で身体的・精神的・社会的な訓練を行い、基本的な生活スキルの向上 ○「何がどこにあるのか」「どのに何があるのか」視覚的に分かりやすいように絵カードで表示・掲示していく。							
	運動・感覚	○正しい姿勢の維持の為、児童の成長に合わせた教材（椅子・テーブル・座布団等）を提供していく。 ○運動遊び、リズム遊び、ストレッチ等を動かす活動を通して上肢・下肢の運動・動作の改善を図っていく。 ○指先トレーニングやビジョントレーニング等視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚を使用した感覚統合活動を取り入れていく。							
	認知・行動	○小集団でのゲーム遊びを通して、認知の偏りを改善していく。 ○1日の時間の流れを視覚的に見えるように掲示することで流れに沿った行動を促していく。 ○季節に合わせた製作を通して、色、形、重さの感覚を味わっていく。							
	言語コミュニケーション	○他者の前で自己表現をしていく機会を設け、言語表出や表現力を高めていく。 ○発音訓練や言語遊びを通して正しい発音や語彙力を伸ばしていく。 ○自分と周りの人を大切にコミュニケーションを学んでいく。							
	人間関係社会性	○集団の中でルールのある遊びを通して社会性を育て、集団での適応能力を伸ばしていく。 ○役割分担のある遊びや活動を通して、他者と協力する力や遊びを共有する手段を身に付けていく。 ○できるようなったことを認める・共感するを重ね自己肯定感を高めていく。（愛着の形成にも繋げていく。）							
家族支援	○障害の特性に配慮した家族環境の整備の助言。 ○個別支援計画に応じた相談援助の充実。 ○家族や兄弟児からの相談に対する適切な助言。			移行支援			○利用開始時の保育所等との情報共有を行っていく。 ○保育所等への移行時の情報提供を行っていく。 ○小学校への就学の際に支援内容の共有を行っていく。		
地域支援・地域連携	○学校、相談支援事業所、医療機関、アーチル等と連携をし支援体制の情報共有、環境調整を行っていく。			職員の質の向上			○役職・職種、経験年数に応じた研修制度の導入。（動画研修） ○事業所内研修、外部研修を積極的に受講していく。 ○児童福祉における必要資格の積極的な取得。		
主な行事等	○四季に合わせた行事を行うことによって、季節感を理解する。（お花見、夏祭り、お月見、クリスマス会、節分等）								